

議 事 録

会議名	令和7年度第2回 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会		
開催日時	令和8年2月2日（月） 14時00分から15時37分		
開催場所	シンコースポーツ寒川アリーナ（寒川総合体育館）3階 会議室		
出席者名、 欠席者名及 び傍聴者数	<p>< 委員 > 森一光、中村光良、小倉慶久、下里俊樹、關根姿子、山崎博、梅村仁、日吉田柚希、木村章恵、布施僚太 （欠席者） 加藤幹広、二見茂、山元博文、阿部将也</p> <p>< 事務局 > 青木企画部長、関根企画政策課長、守屋副主幹、渡邊副主幹、酒井主任主事、前田主事</p> <p>< 事業担当課 > 佐野広報戦略課長、杉崎資産経営課長、芝崎町民協働課長、水越スポーツ課長、鳥海子ども政策課長、野呂子育て支援課長、徳江保育幼稚園課長、原産業振興課長、上村学校教育課長</p> <p>※ 傍聴者1名</p>		
議 題	(1)寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）の取り組みについて (2)地方創生2.0 について (3)その他		
決定事項	議題(1) 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）の取り組みについて 【事務局から内容説明し、了承】 議題(2) 地方創生2.0 について 【事務局から内容説明し、了承】		
公開又は 非公開の 別	公開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	○開会 1 議題 (1) 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）の取り組みについて		

<事務局から資料 1～3 に基づき説明>

【梅村委員長】

皆様、ご意見・ご質問等あれば、ご発言ください。

資料 3 の修正 1 結婚を希望する方への支援について、具体的に何が変わったのでしょうか。

【子ども政策課長】

結婚新生活支援事業費補助金という住宅取得に係る補助事業を国の補助金を活用して実施していますが、今年度の申請件数は現在 0 件であり、申請要件が厳しく対象になりうる方が少ないと考え、令和 7 年度末で終了としました。一方で結婚新生活支援行政ポイント付与事業に資源を集中して拡充しました。

【木村副委員長】

資料 1 で基本目標 3 の KGI に児童クラブの待機児童数の現状値が 8 となっておりますが、これはどのような数字でしょうか。

【保育幼稚園課長】

こちらは令和 5 年の年度末の児童クラブの待機児童数です。毎年度末の待機児童数で進捗を確認しています。年度当初時点では多くの待機児童がいますが、夏休みが終わった時期から退所する児童が多く、年度末に向けて待機児童数が解消していく傾向があります。

【木村副委員長】

年度末の人数なのであれば、それを表記した方が分かりやすいと思います。昨年度の 4 月時点で南小学校の児童クラブ待機児童は 20 人で、小学 2 年生から児童クラブに入れない児童が 3 人いました。寒川小学校も枠を広げましたが、既に 13 人の待機児童が出ています。小学 2 年生から児童クラブに通えない子が出ている状況が近年続いています。寒川町に転入してきても、児童クラブに入れないのであれば、住みやすくないと感じてしまう可能性があります。

また、サマースクールが今年度実施となりませんでした。来年度は実施できるように進めているのでしょうか。

【保育幼稚園課長】

サマースクールは来年度から 3 年間実証実験的ではありますが、事業者も決定しており、現在利用決定通知の準備をしています。既に利用希望者が定員 40 人を上

回っているため、待機児童が既にいるという現状については、対策を検討してまいります。

【木村副委員長】

南小学校では、現在の児童クラブの前はふれあいホールの一部が児童クラブとして使われていました。来年度はそこでサマースクールが実施されるので使えないですが、もしそのように他に使える場所があるのであれば活用した方が良いと思います。

【小倉委員】

資料2の基本目標1のKPI、創業支援等事業計画に基づく支援数が中間値では低いですが、要因は何でしょうか。また、目標の修正は必要ないのでしょうか。

【産業振興課長】

こちらはあくまで中間値であり、町だけでなく商工会や金融機関の支援数も算入するため、年度末に向けて達成していく見込みですので、修正は考えておりません。

【山崎委員】

資料1について、令和47年時点の推計人口が35,661人となっていますが、この推計はどのようにされましたか。また、出生率1.28で維持していくとのことですが、自然減の中、社会増で補っていくという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

町住民基本台帳の過去10年分のデータを基に、コーホート要因法を用いて町独自に推計しております。出生率は1.28で維持するものとし、施策を展開していくことで人口移動率の改善を図ってまいります。

【山崎委員】

転入はどの辺りから来ている傾向がありますか。

【企画政策課長】

近隣市からの転入が多い傾向にあります。県外からの転入は少ないため、県外に対しても町の認知度向上を図っていきます。

【山崎委員】

県としても、県内よりも県外からの転入が増えるようなアプローチをお願いします。

【梅村委員長】

ストリートスポーツパークの整備について、大きな予算が付いていますが、説明会等では町民からどのような反応がありますか。

【スポーツ課長】

町民の皆様からは様々なご意見を頂いています。民間企業の事業提案で進めており、具体的な内容を提示できていないため、イメージを持っていただくのが難しいかもしれませんが、今後具体的な内容を示していきたいと思えます。

【森委員】

資料 1 について、2065 年時点の目標を掲げていますが、元からその設定でしたか。令和 10 年の高齢化率を 28.1%と目標にされている一方で、国勢調査のデータでは 2040 年の高齢化率が 32.2%と出ていますが、どのような対策をされますか。

【事務局】

国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョンと合わせて 2065 年までの計画を策定しております。高齢化率については、町の住民基本台帳を基に推計をしているため、国勢調査とは異なる数値となります。総合戦略に登載した施策を進めていくことで、高齢化率の抑制に努めてまいります。

【森委員】

昨今あらゆるところで人材不足が起こり人の取り合いが起きています。担い手を増やすために少子高齢化対策を進めていくべきではないでしょうか。

【企画政策課長】

総合戦略は、総合計画に位置付けられている事業から人口減少・高齢化に対応する施策を抽出してまとめているものです。文字通りまち、ひと、しごとを作っていくことで、少子化に対応してまいります。高齢化に関しては、総合計画に登載された事業でも補完して取り組んでまいります。

【企画部長】

町の第 1 期総合戦略を策定した当時から現在まで、外から人を呼び込む計画で進めてきましたが、今後は人口減少を受容しながら、持続可能性の観点から町の職員・企業等も生産性を上げていく取り組みが必要であるため、次期総合戦略ではそれを踏まえながら検討していきたいと考えております。

【森委員】

生産性を上げるためには、DX 等の先進的な取り組みを導入や外国人施策等の検討が必要だと考えます。

【梅村委員長】

国の衆議院選挙も実施される場所ですが、今後の外国人施策が重要な論点の一つかと思えます。各自治体で外国人施策が進められていますが、寒川町においても今後議論が必要になっていくかと思えます。

【布施委員】

資料 2 の基本目標 1 の KPI、創業支援等事業計画に基づく支援について、実際に創業した事業者数はどれくらいでしょうか。

【産業振興課長】

昨年度寒川町で創業した事業者数は 35 件です。県の資料によると、茅ヶ崎市で 24 件、藤沢市で 50 件ですので、近隣自治体と比較しても多い件数です。

【布施委員】

創業者の年齢層の割合はどのようになっていますか。

【産業振興課長】

35 件のうち、16 件が 40～49 歳で最も多い層です。

【布施委員】

商工会青年部に加入しているのですが、新規の情報があまり入ってこないの、予想以上にいると思いました。

【中村委員】

商工会の理事会では毎月発表していますので、青年部の部長に聞いてみてください。

【梅村委員長】

他に質疑等ありますか。なければ資料のとおり進めていただきます。

(2) 地方創生 2.0 について

＜事務局から資料 4～7 に基づき説明＞

【梅村委員長】

皆様、ご意見・ご質問等がありますでしょうか。

【下里委員】

ストリートスポーツパークについて、パークへの導線、周辺の環境整備はどのように検討されていますか。

【スポーツ課長】

アクセスは公共交通機関または自家用車を想定しています。自家用車については、大会開催等も想定して駐車場や交差点について警察との協議を進めています。公共交通機関についてはコミュニティバス等を利用していただければと考えています。事業提案によっては、シャトルバスを運行する可能性もあります。

周辺環境については、パークを中心として周りを活気付けていきたいと考えています。パーク内に売店やレストラン等の便益施設を整備予定としています。

【下里委員】

町民等への周知が足りていないように感じます。近くで商売をしたい方もいるかと思うので、広報をこのタイミングから早急に進めてほしいと思います。

【スポーツ課】

現在具体的な内容が決まっていない状態ではありますが、頂いたご意見を踏まえて対応してまいります。

【木村副委員長】

資料 4 の 5 ページの若い世代の子育て環境の整備に「若い世代の出生率の向上を目指す」とありますが、寒川町には産婦人科がありませんが、医師会への働きかけ等はしているのでしょうか。

「子育てに関する不安を解消させる施策に取り組む」ともありますが、先程お話しした待機児童の解消を進めてほしいのと、教育に関しては、英語教育だけでなく、基礎学力の向上も図ってほしいと思います。

資料 5 に豊かな生活環境とありますが、寒川高校が統合により令和 11 年度に閉校となりますが、跡地はどうなるのでしょうか。閉校となることで広域避難場所が減ってしまい、南小学校への負担が大きくなってしまいます。

【子育て支援課長】

近隣市も含めると町役場から車で30分以内に受診できる産婦人科が約30件あるため、現状では産婦人科誘致に関する医師会への働きかけ等はしておりません。

【学校教育課長】

ご意見のとおり、基礎学力の向上に向けた取り組みを進めてまいります。

寒川高校は神奈川県教育委員会が所有しているため、閉校後の跡地については、神奈川県教育委員会が検討され、県教育委員会で使用しない場合は県で検討していくとのことでした。

【關根委員】

先程担い手不足の話がありましたが、農業についても10年後の跡継ぎが決まっている農家は30%と言われていています。移住者や退職者等に対して町からも働きかけてほしいと思います。

【企画政策課長】

農業振興については、総合戦略には記載されていませんが、農政課で対策を実施しております。

【梅村委員長】

他に質疑等ありますでしょうか。なければ資料のとおり進めていただきます。

(3) その他

<事務局から事務連絡>

【企画部長】

本日は大変お忙しい中、長時間にわたりましてありがとうございました。委員長をはじめ、委員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

第3次総合戦略の取り組みに対するご意見を頂戴したとともに、今後の総合戦略の在り方について様々な議論をしていただきました。本日頂いたご意見等を踏まえて、今後も取り組みを進めてまいりたいと考えております。

これをもちまして、令和7年度第2回寒川まちひとしごと創生総合戦略策定等外部委員会を閉会といたします。

【梅村委員長】

ありがとうございました。

資料	<p>令和7年度第2回寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会次第</p> <p>【資料1】寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）の概要</p> <p>【資料2】寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）令和8年度 実施事業一覧</p> <p>【資料3】寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）の修正について （令和8年度以降）</p> <p>【資料4】地方創生2.0への町総合戦略の対応方針案</p> <p>【資料4参考】地方創生2.0への県総合戦略対応方針案</p> <p>【資料5】地方創生に関する総合戦略の概要</p> <p>【資料6】「ふるさと住民登録制度」の創設について</p> <p>【資料7】地方創生の取り組み事例：ストリートスポーツパークの整備について</p>
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	梅村 仁（令和8年3月2日確定）